

先日、二十四節気の雨水（うすい）を迎えました。雨水とは、空から降る雪が雨に変わり、農耕の準備を始める目安とされています。真冬に比べて日も長くなり植物も目覚め始めましたが、朝晩はまだ冷え込みますので油断はできません。

秋に園内でたくさん見られたクロガネモチやタラヨウなどの赤い実は、ほとんどが野鳥の餌になりました。

★ 開花情報

アテツマンサク（阿哲満作）マンサク科マンサク属（写真1）

大正時代に当時の岡山県阿哲地方（現在の新見市）の黒髪山で牧野富太郎博士により発見、命名されたマンサクの変種で、中四国地方の山地に自生します。基本種マンサクは花の香りが生臭く、萼は赤くなります。また葉裏の星状毛が、成葉になると裏面脈沿いや脈腋のみに残ります。対してアテツマンサクの花は香りが良く、萼は黄色になります。個体差があり、萼の色は中間的なものもあります。葉の星状毛は成葉になっても両面に残り、特に葉脈に密生するので見分けがつかず。林間広場上にはマンサクがありますが、こちらはまだ開花していません。

場所：管理事務所横園路沿い

ウメ（梅）バラ科サクラ属（写真2）

日本で古くからなじみの深いウメは万葉集にも数多く詠われています。原産は中国大陸で、果樹や庭木等に用いられます。多くの栽培品種があり、果実を食用に用いる「実梅」と花を觀賞する「花梅」に分けられ、形態により、白花が多く小枝が刺になりやすい「野梅系」の他、花実が大きい「豊後系」、紅梅に多い「緋梅系」等に分けられます。

場所：苗畑、見本園他

この他、シロモジ等、早春に開花するクスノキ科の樹木も蕾を膨らませています。（写真3）シロモジやカナクギノキは蕾が多く、開花が楽しみです。

その他の開花情報等

開 花	ヤブツバキ、サザンカ、カンツバキ、十月桜他
-----	-----------------------

（低温のため道路が凍結する日があります。冬用タイヤをお忘れなく。）



写真1 アテツマンサク（管理事務所横園路沿い） H27.2.19



写真2 ウメ (苗畑) H27.2.19



アオモジの蕾 (管理事務所横園路沿い) H27.2.19



シロモジの蕾 (管理事務所横園路沿い) H27.2.21



カナクギノキの蕾 (水生植物園横) H27.2.19



ダンコウバイの蕾 (きのこの森) H27.2.21